



地球掘削科学共同利用・共同研究拠点

令和2年度 高知大学 海洋コア総合研究センター
Center for Advanced Marine Core Research

共同利用・共同研究成果発表会



日時：令和3年3月1日（月）10：20～18：00／令和3年3月2日（火）9：30～16：00 会場：高知大学 海洋コア総合研究センター B棟2階セミナー室&オンライン

3月1日（月）

※発表題目および発表者（所属）のみ記載

10:20-10:30 開会挨拶

高知大学 海洋コア総合研究センター長 徳山 英一

地球掘削科学共同利用・共同研究拠点 課題選定委員会委員長 池原 研

10:30-12:00（座長：奥村 知世）

O-01「古原生代後期における有機炭素同位体比の変動：カナダ・ケープスミス帯」元村 健人（九州大学）

O-02「米国グリーンリバー湖成層に記録された始新世前期
～中期“温室期”の古環境変動～陸域気候変動と全球気候変動の対比～」隈 隆成（名古屋大学）

O-03「高知県安芸市に分布する更新世穴内層産Amussiopecten praesignis（二枚貝）の殻成長および地球化学分析」川竹 慶（高知大学）

O-04「モンゴル北西部の湖底堆積物から復元する過去3万年間の古環境変動と植生復元」今岡 良介（高知大学）

O-05「サンゴ骨格中の酸素同位体比を用いたロンボク海峡表層の環境復元」源田 亜衣（岡山大学）

11:45-12:00 討論

13:00-14:30（座長：池原 実）

O-06「水酸化鉄の沈澱プロセスと堆積後の初期続成 – 薩摩硫黄島・長浜湾の例 –」堀 航喜（九州大学）

O-07「北西太平洋で採取された海洋底堆積物の堆積プロセスの検討」鈴川 真季（山口大学）

O-08「貝形虫殻を用いた北極海西部における完新世の海洋変動」山田 桂（信州大学）

O-09「海洋における溶存態と粒子態の鉛同位体組成」則末 和宏（新潟大学）

O-10「高知大学学術コアレポジトリ（KU-ABCR）の情報公開・利用について」朝日 博史（高知大学）

14:15-14:30 討論

14:40-16:10（座長：浦本 豪一郎）

O-11「標準試料を用いたXRFコアスキャナー・Itraxの研究室間のデータ比較」天野 敦子（産業技術総合研究所）

O-12「XRFコアスキャナー測定と高密度放射性炭素年代測定による細粒タービダイトの認定」芦 寿一郎（東京大学）

O-13「チリ沖コアを用いたItraxデータの含水率補正と最終氷期の南半球偏西風経路の復元」長谷川 精（高知大学）

O-14「マイクロXRF分析による火山起源イベント層の化学的特徴：福島県猪苗代平野地下ボーリングコア試料の例」長橋 良隆（福島大学）

O-15「房総沖掘削コアC9010Eに介在するテフラ層序研究の進捗と概要」青木 かおり（東京都立大学）

15:55-16:10 討論

16:20-18:00（座長：氏家 由利香）

O-16「KCC保管のJRコア全てのCTスキャンに向けた準備研究」藤内 智士（高知大学）

O-17「亀裂評価方法確立への挑戦」高橋 美紀（産業技術総合研究所）

O-18「北海道東部、釧路市春採湖で採取した二本の堆積物コアの高解像度解析」中西 利典（ふじのくに地球環境史ミュージアム）

O-19「南極サウスシェットランド海溝における堆積作用」山口 飛鳥（東京大学）

O-20「ヒゲクジラ類の神経系・感覚器の進化」松井 久美子（九州大学）

O-21「高知県物部川支流に生息するアマゴ集団の遺伝的多様性」関 伸吾（高知大学）

17:50-18:00 討論

3月2日（火）

※発表題目および発表者（所属）のみ記載

9:30-10:40（座長：朝日 博史）

O-22「竜串層に含まれる球状鉄コンクリーションの成因 ～火星の球状物体との類似性～」浅井 沙紀（高知大学）

O-23「初期続成過程における玄能石コンクリーションの形成プロセス」村宮 悠介（深田地質研究所／名古屋大学）

O-24「古津波遡上範囲推定に向けた泥質津波堆積物認定手法の開発」中西 諒（東京大学）

O-25「秋田県田沢湖堆積物の7000年前から現在までの特徴」石山 陽子（秋田大学）

10:30-10:40 討論

10:50-12:20（座長：山本 裕二）

O-26「南海トラフ堆積物コアに記録された過去4万年間の古地磁気永年変動」後藤 滝弥（東京大学）

O-27「Paleomagnetism of a sediment core taken from the Ontong-Java Plateau: for better understanding of the role of biogenic magnetite in geomagnetic paleointensity recording」Jiaxi Li (The University of Tokyo)

O-28「堆積物形成初期に磁性細菌Magnetospirillum magnetotacticum MS-1が獲得する残留磁化の性質
– 無機起源の磁性粒子を加えた系についての検討 –」政岡 浩平（九州大学）

O-29「紀伊半島に分布する田辺層群（中新世堆積物）のU-Pb年代と古地磁気」星 博幸（愛知教育大学）

O-30「発掘土器片を用いた岩石磁気学 – 「考古岩石磁気学」の確立に向けて –」畠山 唯達（岡山理科大学）

12:05-12:20 討論

13:20-14:30（座長：安 鉉善）

O-31「復元窯試料を用いた考古地磁気強度実験の妥当性の検討」北原 優（岡山理科大学）

O-32「長崎県大村湾の海底表層堆積物の磁気特性」石川 尚人（富山大学）

O-33「南海トラフ東海沖セグメントの地震発生間隔：
周期的にタービダイトを含むコアの古地磁気永年変化による年代モデル構築」金松 敏也（海洋研究開発機構）

O-34「中国レスの詳細なMatuyama-Brunhes地磁気逆転記録」兵頭 政幸（神戸大学）

14:20-14:30 討論

14:40-15:50（座長：山本 裕二）

O-35「ICDP DSeis（南アフリカ金鉱山地震発生場掘削）計画 – 変質したMafic貫入岩体の
地震発生場での役割と太古代のHypersaline brine –」小笠原 宏（立命館大学）

O-36「沖縄トラフ東伊是名熱水域掘削コアから得られた重晶石の年代測定」石橋 純一郎（九州大学）

O-37「北西太平洋プチスポット火山岩中の地球深部物質 – プチスポット産火山岩中の
下部地殻・マントル・アセノスフェア由来物質の探索 –」石井 輝秋（静岡大学）

15:25-15:50 討論

15:50-16:00 学生優秀発表表彰・閉会挨拶

高知大学 海洋コア総合研究センター 副センター長 岩井 雅夫

